正面に置かれているのは,「海暮れゆけばただ仄(ほの)かなる」という1000号サイズ(333.3×497.0㎝)の巨大な作品だ。

アトリエ訪問

第18回

遠藤彰子

画家

巨大なキャンヴァスに描かれる,壮大な物語。
幻想的な画面を見上げていると,豊穣な精神世界に吸い込まれそうになる。
画家・遠藤彰子。そのあふれる想像力とエネルギーの源は,どこにあるのだろう。
閑静な住宅街に佇む,彼女のアトリエを訪ねた。

撮影 永野雅子

相模原の住宅街を歩いていくと，街角に独特な存在感を放つ２階建てが現れた。白亜の外壁はびっしりと蔦に覆われ，ところどころに仏像が鎮座している。まるで異世界への入り口のような扉を開けると，笑顔の遠藤さんが招き入れてくれた。

――素敵なアトリエですね。いつからここで制作されているのですか。

遠藤　昔から相模原にアトリエを構えてはいましたが，このアトリエに建て替えたのは20年前くらいだったかな。床が半地下になっていて，天井まで約７メートルあります。高さがあるのが気に入っていますね。大きい絵を描くには，大きい空間が必要ですから。

――大きな絵を描くようになったのは，いつごろからですか。

遠藤　幼い頃から絵を描くのが好きで，頭で考えた物語を道路にチョークで描いて表現していましたね。もしかすると「大きな絵を描く」ということの原点は，この頃にあるのかもしれません。

大人になってからは，20代半ばで200号(259×194cm)を描き始めました。30代後半で改めて自分の絵と向き合ってみて，「もっと大きい絵だったら違う空間が描けるかも」と思い，41歳から，500号(333.3×248.5cm)以上を描くようになりました。

これだけ作品が大きいと，描くうちに最初のイメージから変わっていくこともよくあります。大きな構成は変わりませんが，細部はよく変わります。というか，変わらないとおもしろくない。描いた形からヒントが浮かんできて，イメージがどんどん連鎖していく。そうなるともう，楽しくてしかたない。

私の場合，キャンバスに木炭で下書きしてから，最初は白と黒の油彩で調子の幅をつけていきます。その後，細部の色を重ねていくのですが，この段階で当初のイメージから変わっていくことが多いですね。

――光村図書の高等学校教科書『美術2』(P.55)には，遠藤さんが初めて描いた500号の作品「みつめる空」を掲載しています。

遠藤　自分にとっての転機となった作品ですね。この絵を描いてから，どんどん自由になっていった気がします。「空が上で，地面が下でないといけない」というような，常識的な考えから解放されたというか。

現実ではあり得なくても，絵の上では重力に縛られることなく，自由に描いていい。常に想像力は柔軟でありたいと思っています。それまでと同じような絵を描くのは簡単だけど，やっぱり冒険しないと。自分がドキドキしないものに，人がドキドキするわけないでしょう？

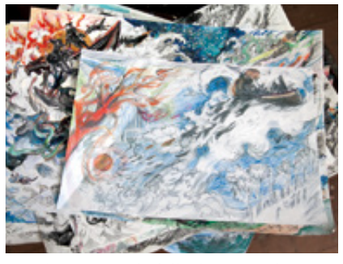
ただ，独りよがりはよくないから，客観性は意識しつつ，自分の奥底を深く探っていく感じ。自分の考えが描けているか，時代にシンクロしているか，新しさは出せたか……とか，最後まで考える。9割描いた後，残りの１割を仕上げるために，それまでと同じくらい時間をかけます。

――今，アトリエにある「海暮れゆけばただ仄かなる」は，高等学校の新版教科書『美術1』(P.29)に掲載させていただきました。この作品にこめた思いを聞かせてください。

遠藤　世の中の全てのものは，生まれては時間の経過とともに変化し続けていきます。一滴の雫のような命が，重なり合って大きな波になり，また静まり返っていく。循環する生命の不思議を，水のもつ「美しさ」と「怖さ」の両面で表現したいと思いました。

完成に７か月要しましたが，制作中は「この絵はどうなっていくんだろう」という高揚感があるので，「大変」とか「辛い」という気持ちはなかったですね。壁にぶつかっても，思い詰めすぎず，手を動かすうちに突破口は開くもの。そういう創作の喜びを知っているから，あまり辛さを感じないのかもしれません。

愛用する筆は油絵用ではなく，習字用の細い筆。大きなキャンヴァスの9割をこの筆で描くという。


アイデアスケッチを何十枚と描いていく中で，徐々に全体の構図が固まってくる。

えんどう・あきこ
1947年東京都生まれ。1969年，武蔵野美術短期大学美術科油絵専攻卒業。1986年第29回安井賞受賞。1996年武蔵野美術大学油絵学科助教授(1999～教授，2018～名誉教授)。2007年平成十八年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞（美術部門）。2014年，女性画家として初の紫綬褒章受章。30年以上にわたり，500～1500号の神秘的で迫力ある大作を生み出し続けている。

「海暮れゆけばただ仄かなる」の制作過程をご覧いただけます。
この動画は高等学校新版教科書『美術1』(P.29)に掲載されているQRコードからも視聴できます。